

STAR

インジェクターアタッチメント

取扱説明書・部品表

製品コード 型	式	K31207 ASJ5000・ASJ5010	・ K31208
製品コード 型	式	K31209 ASJ7000・ASJ7010	・ K31210
部品供給型式		AJF0500 - 04	

プレスローラアタッチメント

製品コード 型	式	K31215 AJP1000
------------	---	--------------------------

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社





安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

危険

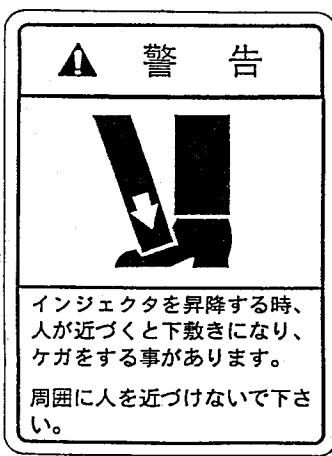
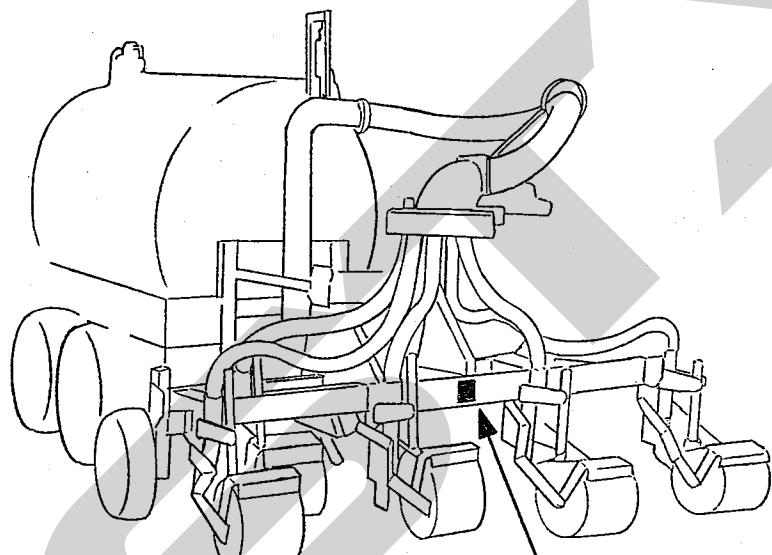
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



警告

インジェクタを昇降する時、人が近づくと下敷きになり、ケガをすることがあります。

周囲に人を近づけないで下さい。

部品番号 106461

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、トラクタの取扱説明書並びに本取扱説明書及びバキュームカーの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。

次の場合は運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。

次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。

- 帽子を着用する。

- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジンを始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」(中立)にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。主変速レバーを「N」(中立)にして行ってください。

- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になる事があります。窓、戸などを開け十分に換気してください。

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。

PTOを切ってから始動してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

- アタッチメントを装着する時、トラクタのエンジンをとめずに行うと、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたりして、事故を起こす事があります。エンジンをとめてバキュームカーの車輪に輪止めをして行ってください。

▲注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。

平坦で地盤のかたい所で行ってください。

- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずに行うと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。切り離す時は、必ずスタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。

- 連結するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。トラクタへフロントウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

パワージョイントを使用する時は

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。

- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。損傷したらすぐに取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。

- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。

- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガ

をする事があります。

トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きる事があり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。適正な重なり量で使用してください。

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをする事があります。溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルを左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。

- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。急制動・急旋回はしないでください。

- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しそぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。低速走行してください。

- 旋回する時、内輪差により周囲の人を作業機に巻き込み、ケガをさせる事があります。周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。

- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると、転落事故を起こす事があります。路肩は走行しないでください。
- 高低差の大きい段差を乗り越えようとするト、トラクタが転落あるいは横転し、ケガをする事があります。
あゆみ板を使用してください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
作業機の上には、人をのせないでください。

▲注意

- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。
移動走行する時は、PTOを切ってください。

作業中は

作業する時は

▲警告

- インジェクタを昇降する時、人が近づくと下敷きになりケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。
指定回転速度を守ってください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、思わぬ事故をまねく事があります。
作業機の上には、人を乗せないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。
低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。しっかりとハンドルを握って運転してください。

▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

トラクタから離れる時は

▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検の励行

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲危険

- ディストリビュータのロータが回転中に点検および清掃作業をすると、ロータに巻き込まれ、ケガをする事があります。
P T Oを切り、エンジンをとめ、ロータがとまっている事を確かめて行ってください。

▲注意

- 機械に不調が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- P T Oおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換してください。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバ一類を取付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

もくじ



安全に作業するために

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	4
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4		

1

バキュームカー本体への装着

1 各部の名称とはたらき	8	3 インジェクターアタッチメントの組立装着	9
2 適応トラクタの範囲	8		

2

運転を始める前の点検

1 運転前の点検	9	2 エンジン始動での点検	10
1. トラクタ各部の点検	9	1. 油圧系統に異常はないか	10
2. 連結部の点検	9	3 給油箇所一覧表	10
3. パワージョイントの点検	9		
4. バキュームカー本体の点検	9		
5. アタッチメントの点検	9		

3

作業の仕方

1 本アタッチメントの使用目的	11	3 各部の調整	11
2 作業の種類	11	1. 注入量	11
1. 注入作業	11	2. 注入深さ	12
2. 作業終了	11	3. 貫入量	12
		4. ディストリビュータ	12
		5. AJP1000プレスローラ アタッチメント(オプション)	12

4

作業が終わったら

1 作業後の手入れ 13

2 長期格納する時 13

5

点検と整備について

1 点検整備一覧表 14

6

不調時の対応

1 不調処置一覧表 15

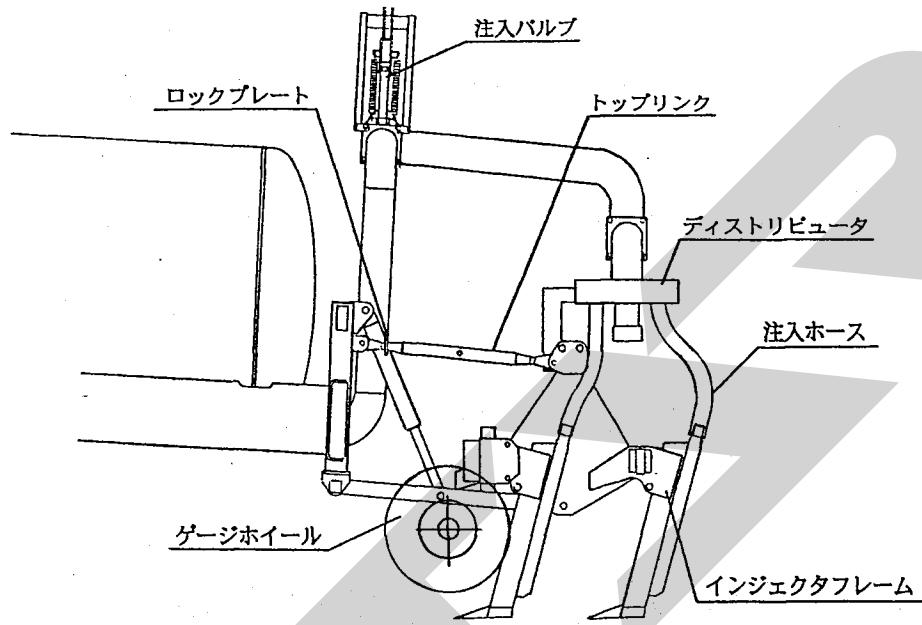
7

部品表 16

1 バキュームカー本体への装着

適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



1. インジェクタフレーム
トラクタの油圧レバー操作によって昇降します。
2. トップリンク
インジェクタフレームのマッチング姿勢を調整する場合に使用します。
3. ロックプレート
調整したトップリンクの回り止めに使用します。
4. ディストリビュータ
尿やスラリー内のワラ等をナイフのついたロータによって切断しながら各注入ホースへ均等に分配します。
5. ゲージホイール
尿やスラリーの注入深さを調整する場合に使用します。
6. 注入バルブ
インジェクタフレームの昇降と連動して、バルブが開閉します。
7. 注入ホース
ディストリビュータにより分配された尿やスラリーが通過するホースです。

2 適応トラクタの範囲

(1) 本アタッチメントは、適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるよう設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては本アタッチメントの耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

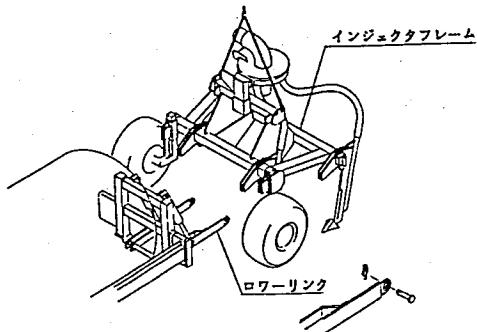
この製品の適応トラクタ馬力は次のとおりです。

	T V C 3520 3530	T V C 5030	T V C 6530
A S J 5000	60Ps～	70Ps～	—
A S J 5010	—	—	80Ps～
A S J 7000	—	80Ps～	—
A S J 7010	—	—	90Ps～

(2) 本アタッチメントは、インジェクタフレームの昇降、注入バルブの開閉およびディストリビュータのロータ回転に必要な油圧機構を採用しています。装着トラクタには複数の外部油圧取出口が必要です。

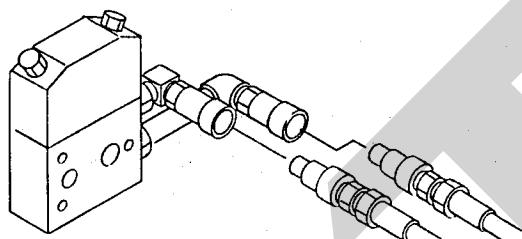
3 インジェクタアタッチメントの組立装着

- (1) インジェクタフレームをフロントローダ等で吊り上げ、バキュームカーボディのロワーリングに取り付けてください。



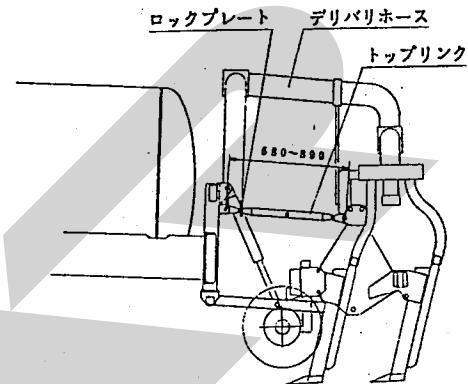
- (2) バキュームカーボディとインジェクタフレームにトップリンクを取り付け、デリバリホースを接続してください。

- (3) ディストリビュータの油圧ホースを、バキュームカーボディのカプラに接続してください。



- (4) バキュームカーボディとトラクタをマッチングした状態でインジェクタフレームが地面と水平になるようにトップリンクの長さを調整してください。

- ・トップリンクの使用範囲は715~940mmです。マッチング姿勢が悪い場合は、タンクとドローバを取り付けている穴位置を変えてください。調整後はロックプレートで確実にロックしてください。(工場出荷時は865mmにセットしています。)



取扱い上の注意

トップリンクの長さを940mm以上に伸ばさないでください。

インジェクタフレームが走行中に脱落するおそれがあります。

- (5) バキュームカーボディの車軸位置について
バキュームカーボディをインジェクタとして使用する場合は、バキュームカーボディの車軸位置を後方にずらして使用してください。

2 運転を始める前の点検

機械を調子良く長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取り扱い説明書に基づき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

バキュームカーボディの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

3. パワージョイントの点検

バキュームカーボディの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

4. バキュームカーボディの点検

バキュームカーボディの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

5. アタッチメントの点検

- 各部の取付ボルト類にゆるみはないか。
- 各部の給油は十分か。
- 損傷部品はないか。
- 不具合が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」の説明に基づき不具合を解消してください。
- ゲージホイールのタイヤ空気圧は正常か。標準空気圧は次表を参照してください。

タイヤサイズ	6.00-9-10PR
空気圧	680kPa (7.0kgf/cm ²)

2 エンジン始動での点検

▲ 警告

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。
- PTOを切ってから始動してください。

1. 油圧系統に異常はないか

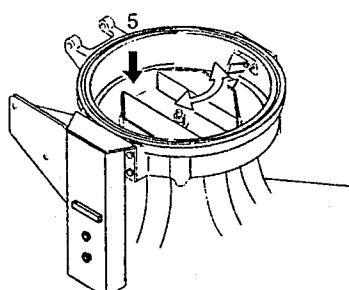
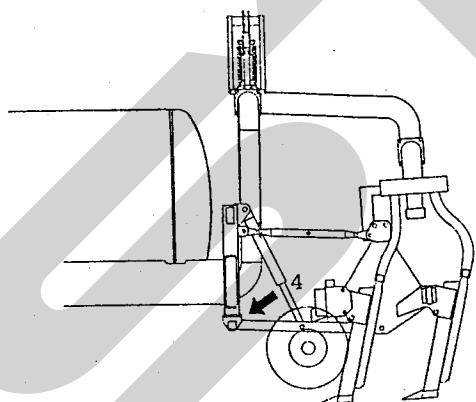
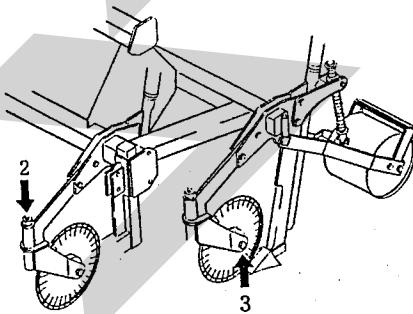
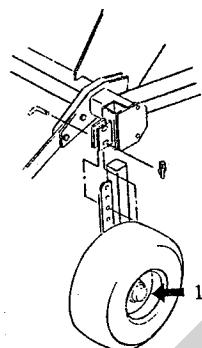
トラクタ油圧を操作し、インジェクタフレームを上昇した時、注入バルブが閉じているか、またインジェクタフレームを下降させ、接地するのと同時に注入バルブが開き、ディストリビュータのロータが回転していれば異常ありません。

油圧系統に異常が見つかった時は、「6-1 不調処置一覧表」に基づき処置してください。

トラクタ油圧系統などに異常がある時は、トラクタ販売店にご相談ください。

3 給油箇所一覧表

- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。
- 給油・塗布するオイルは清浄なものを使用してください。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	タイヤハブ	2	グリース (リチウム系)	使用ごと	適量	
2	コールターボス	1	"	"	"	プレスローラアタッチメント
3	コールターハブ	1	"	"	"	"
4	ロワーリング支点	1	"	"	"	
5	ディストリビュータ内 ロータのナイフ受け刃面	1	オイル塗布	"		

3 作業の仕方

安全を確認し、慎重に作業してください。

1 本アタッチメントの使用目的

1. 本アタッチメントの使用目的
 - (1) 本アタッチメントは、家畜の糞尿を土中注入、散布する機械です。
 - (2) 法的規制のある薬物、危険物の運搬、散布等には使用しないでください。

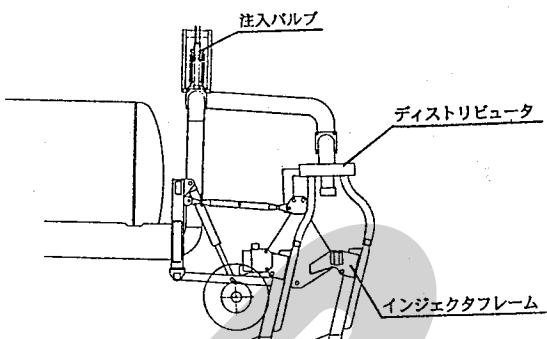
2 作業の種類

▲ 警告

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。
PTOを切ってから始動してください。
- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。
周囲に人を近づけないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。
低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。

1. 注入作業

- (1) PTOを「入」にして、タンクを加圧してください。
- (2) ゆっくり走行しながら油圧レバーを操作して、インジェクタフレームを降下してください。
- (3) 規定の油圧力に達した段階で注入バルブが開き、ディストリビュータのロータが回転し、注入を開始します。油圧レバーは操作したままで作業してください。



2. 作業終了

- (1) 作業終了位置の10m程度手前で油圧レバーを逆側に操作し、注入バルブを閉じてください。
 - (2) 注入バルブを閉じ、油圧レバーを中立の状態でしばらく走行してから再度、油圧レバーを操作してインジェクタフレームを上昇してください。
- ディストリビュータ内に残った尿やスラリーを表面に流出することなく作業できます。

取扱い上の注意

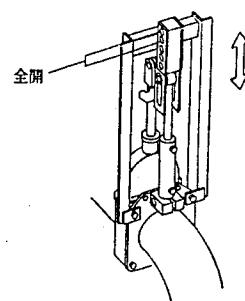
シャンクを土中に貫入したままの旋回、後退は機械の損傷原因となります。
必ずインジェクタをリフトして行ってください。

3 各部の調整

1. 注入量

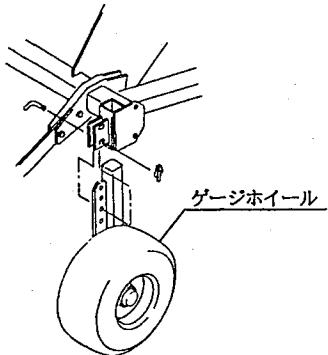
- (1) 本作業機使用の加圧力は 0.7kg/cm^2 にセットしています。
(バキュームカーの取扱説明書を参照)
- (2) 注入量が多く、表面に流出する場合
 - ① トラクタのPTO回転数を下げる。
 - ② トラクタの車速を上げる。
 - ③ バルブの開度調整を行う。

(工場出荷時は全開の状態でセットしています。)

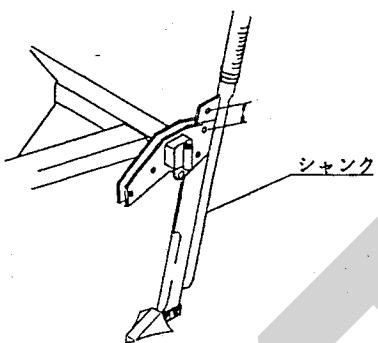


2. 注入深さ

- (1) 注入深さはゲージホイールを上下する事により、調整できます。
標準深さは120~150mmです。
(工場出荷時は150mmでセットしています。)

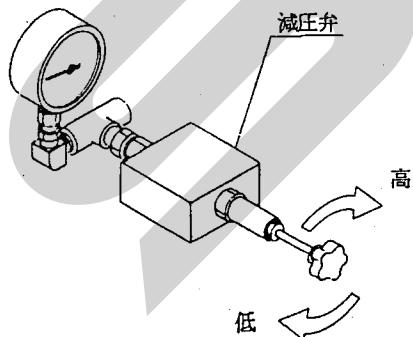


- (2) トラクタのタイヤ跡により注入深さが浅くなる場合は、タイヤ跡に掛かる部分のシャンクを下げてください。



3. 貫入量

- (1) 升降シリンダの圧力設定を変える事ができます。硬い土場の場合は、減圧弁を操作して圧力を20~70kg/cm²の範囲で調整してください。



(工場出荷時は30kg/cm²でセットしています。)

取扱い上の注意

圧力は70kg/cm²以上には上げないでください。

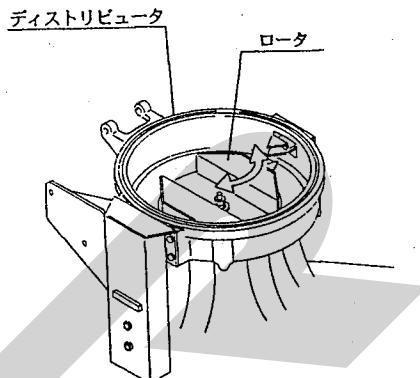
4. ディストリビュータ

ディストリビュータは尿やスラリー内のワラ等を、ナイフを付けたロータによって切断しながら各注入ホースへ均等に分配します。

また、大量のワラ等で過負荷が生じた場合は、ロータの回転方向が自動的に切り替わり、詰まりを防止する自動逆転機構を採用しています。

但し、ロータで切断できない異物が混入した場合は、ロータを停止する事があります。

ロータが停止した場合は、油圧回路を中立にして、異物を取り除いてから作業を再開してください。



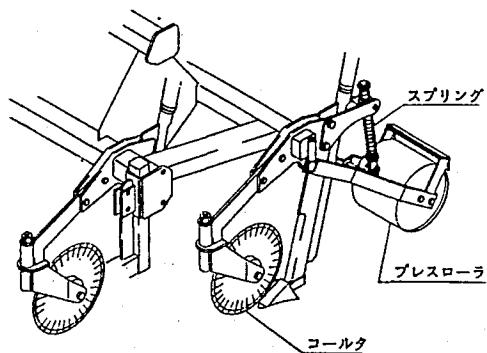
■ 警告

- ディストリビュータのロータが回転中に点検および清掃作業をすると、ロータに巻き込まれ、ケガをする事があります。P TOを切り、エンジンをとめ、ロータが止まっている事を確かめて行ってください。

5. AJP1000

プレスローラアタッチメント(オプション)

採草地での使用の際は、プレスローラアタッチメントが必要になります。



(1) コールタは草地のマットを切断し、まくれを防止します。

(2) プレスローラは注入後の切り口をふさぎ、盛り上がりを押さえ後作業を容易にします。

鎮圧効果はプレスローラ後部のスプリングで調整してください。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをすることがあります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 使用後は、タンク内および自動吸入停止装置を水洗いしてください。
2. 吸入ホースは、糞尿槽から引き上げ、タンクのホース掛けに収納してください。
3. バルブ内の水、糞尿をすべて排出させ、バルブを開にして格納してください。
4. 冬期間、バルブおよびポンプを凍結させないように注意してください。
5. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
6. PTO軸、PIC軸、ジョイントスプライン部など塗装されていない露出部はさびを防ぐためグリースを塗布してください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、PIC軸、パワージョイントスプライン部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。
6. ポンプの内部は、外気との温度差により、結露を生じやすく、長期間放置しておくとさびを助長し、ポンプの破損原因となります。
長期間使用しない場合は、定期的（2週間ごと）にポンプを空運転してオイルを循環させ、さびを防止してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。補修もしくは部品交換してください。継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。

1 点検整備一覧表

時 間	チ ェ ッ ク 項 目	処 置
新品使用 1 時間	全ボルト・ナットの緩み	増し締め
使 用 每 (始業終業点検)	① 機械の清掃 ② 部品脱落・破損部 ③ 各部のボルト・ナットの緩み ④ 各部油もれ ⑤ 各部の油脂類 ⑥ タイヤ空気圧	補充、交換 増し締め シールチェック、破損時交換 「2-3 純油箇所一覧表」に基づき給油、給脂 「2-1 運転前の点検」に基づきチェック
シーズン終了後	① 各部の破損、摩耗 ② 各部の清掃 ③ 各部の給油、給脂 ④ 塗装損傷部	早めの部品交換 「2-3 純油箇所一覧表」に基づき給油、給脂 塗装または油塗布

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- P T Oおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
P T Oを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換してください。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。

▲ 警告

- ディストリビュータのロータが回転中に点検および清掃作業をすると、ロータに巻き込まれ、ケガをする事があります。
P T Oを切り、エンジンをとめ、ロータがとまっている事を確かめて行ってください。

症 状	原 因	処 置
尿やスラリーが表面に流出する	注入量が多い	バルブの開度調整を行う
	トラクタ車速が遅い	トラクタの車速を上げる
	加圧力が高すぎる	トラクタのP T O回転数を下げる
均等に土中注入されていない	ディストリビュータ内に切断できない異物が混入している	清掃する
	油圧配管系の損傷	部品交換する
上げたインジェクタフレームが自然に下がる	油圧配管系にモレがある	補修もしくは部品交換する
	油圧配管系の損傷	部品交換する

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先へご相談ください。

- 製品名
- 部品供給型式（型式）
- 製造番号
- 故障内容（できるだけ詳しく）

7 部 品 表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください）
- ④ 部品番号（部品表を参照してください）
- ⑤ 個数（部品表を参照してください）

※ 部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「付」と表示している部品には、該当見出番号の部品が含まれております。

例

見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	92602	シャフト  付	2
2	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) B Z 0 8 1 5 A (G)
_____ | (メッキ仕上げ)

- A ; ナット・スプリングワッシャ付
- D ; ナット2個付
- N ; ナット付
- P ; ワッシャ付
- W ; スプリングワッシャ付

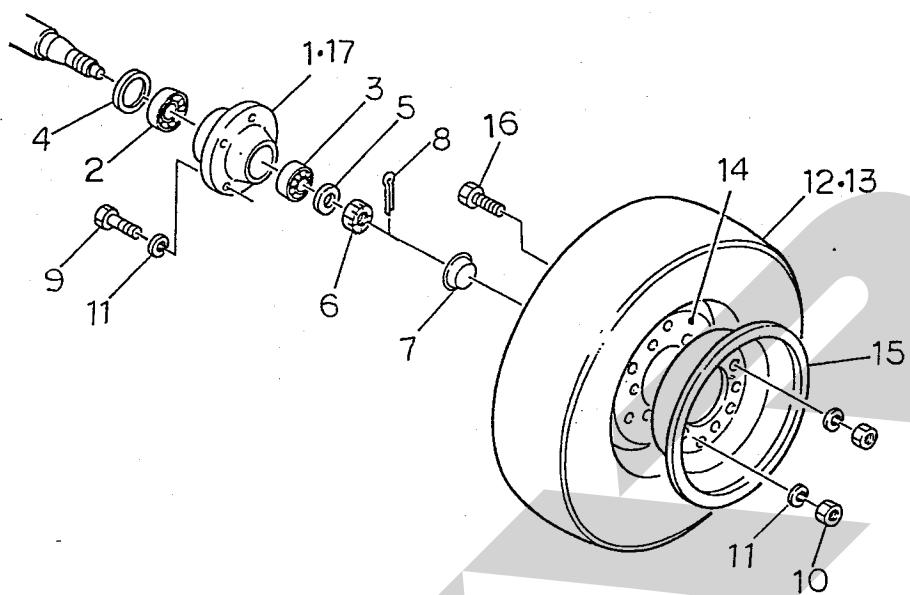
5. 個数欄の 、 は、以下のことを表しております。

- … シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品
- … アッセイ品に含まれる部品で単品では供給しない部品

補修部品の供給年限について

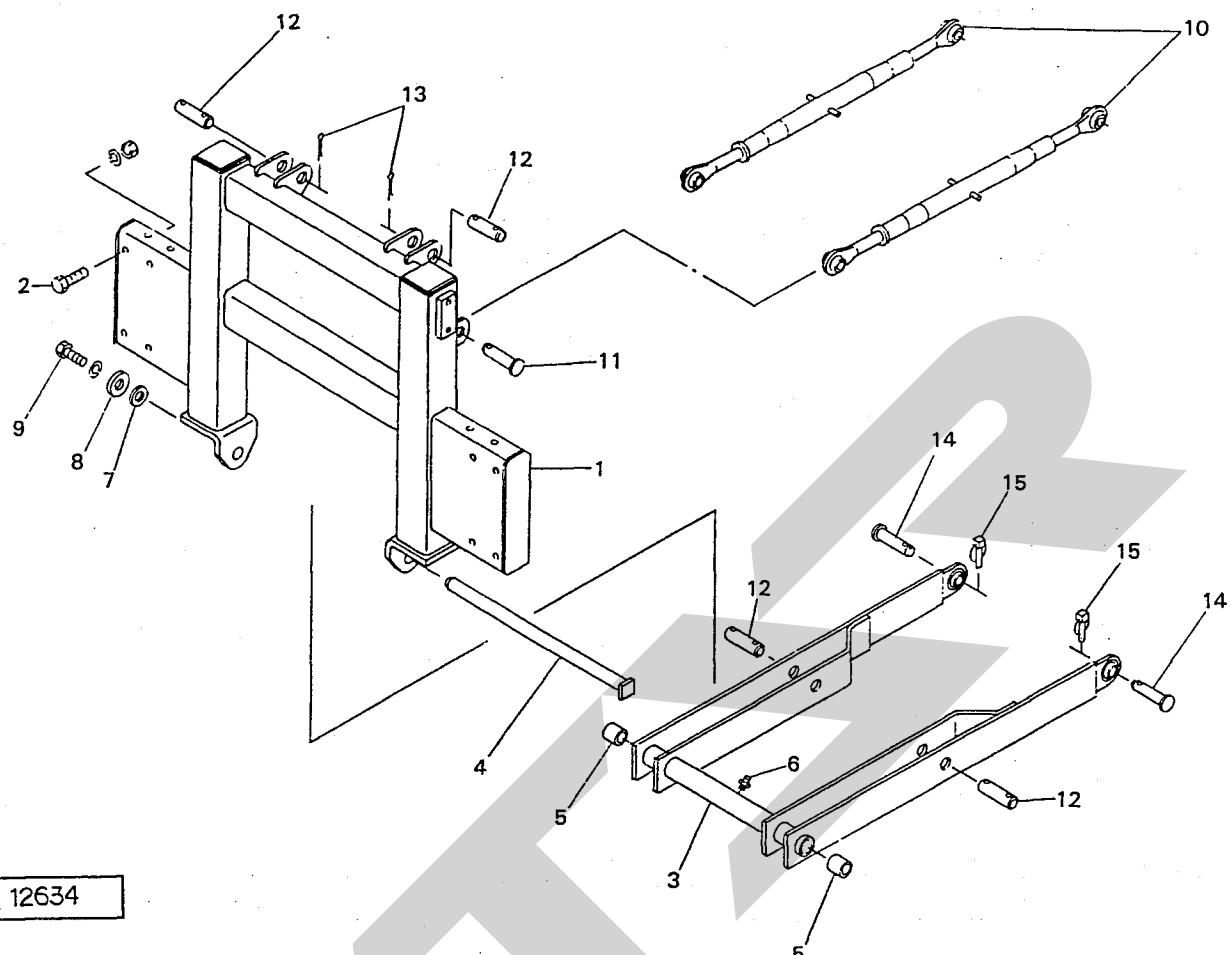
この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

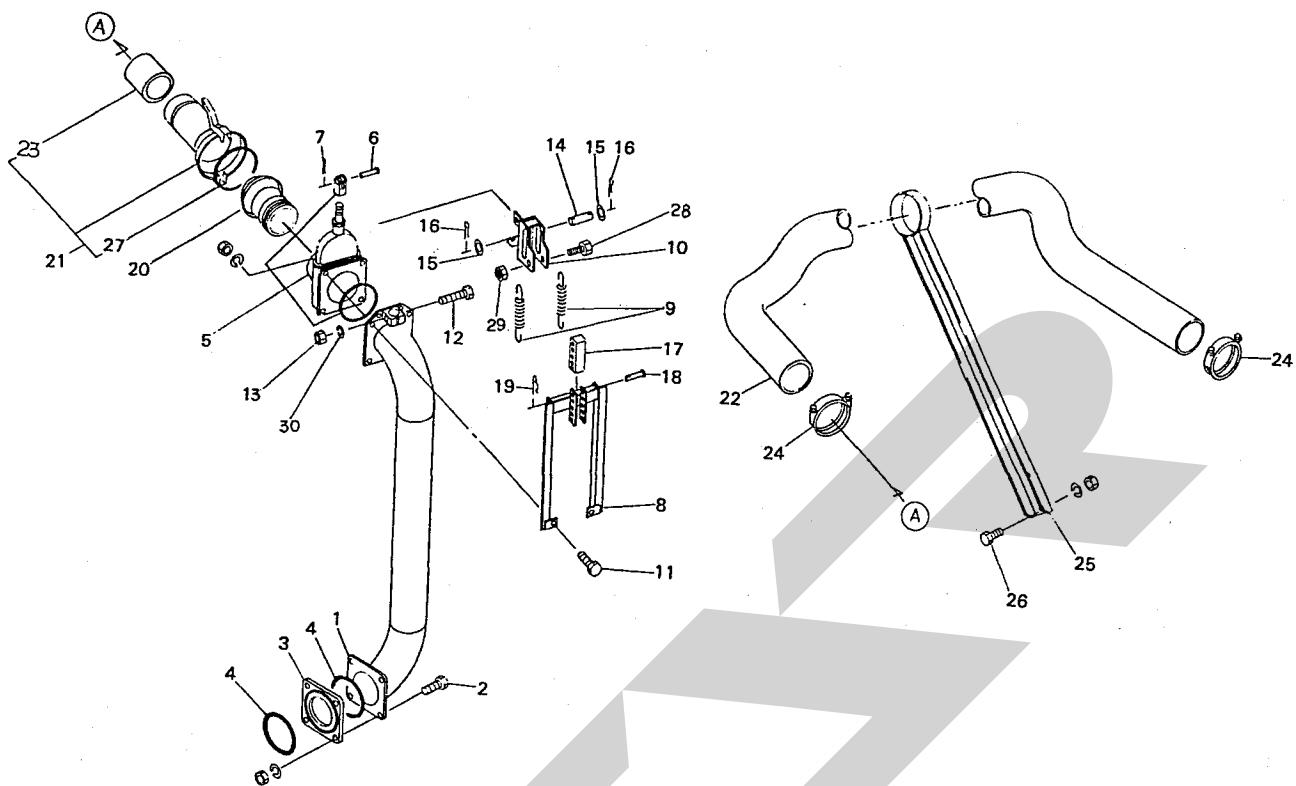


12641

見出番号	部品番号	部品名称	數	見出番号	部品番号	部品名称	數
1	00423	ハブ；52×72	2				
2	J30207	テーパベアリング；30207	2				
3	J30205	テーパベアリング；30205	2				
4	00500	シールワッシャ；35×72	2				
5	WRA24G	ワッシャ；M24	2				
6	00417	キャッスルナット；M24×1.5	2				
7	00414	キャップ；52	2				
8	PC4032G	ワリピン；4×32	2				
9	00421	ボルト；M12×1.5×45(8.8)	12				
10	NZ1215G	ナット；M12×1.5	12				
11	WS12G	Sワッシャ；M12	24				
12	55529	タイヤ；6.00-9-10PR	2				
13	55530	チューブ；6.00-9	2				
14	64906	ホイール；4.00E-9DT (O.D.15寸)	2				
15	64907	ホイール(バルブ穴付) ；4.00E-9DT	/				
16	BZ1225AG	ボルト；M12×25(8.8)	12				
17	ONBS1	グリースニップル；B-PT1/8	2				

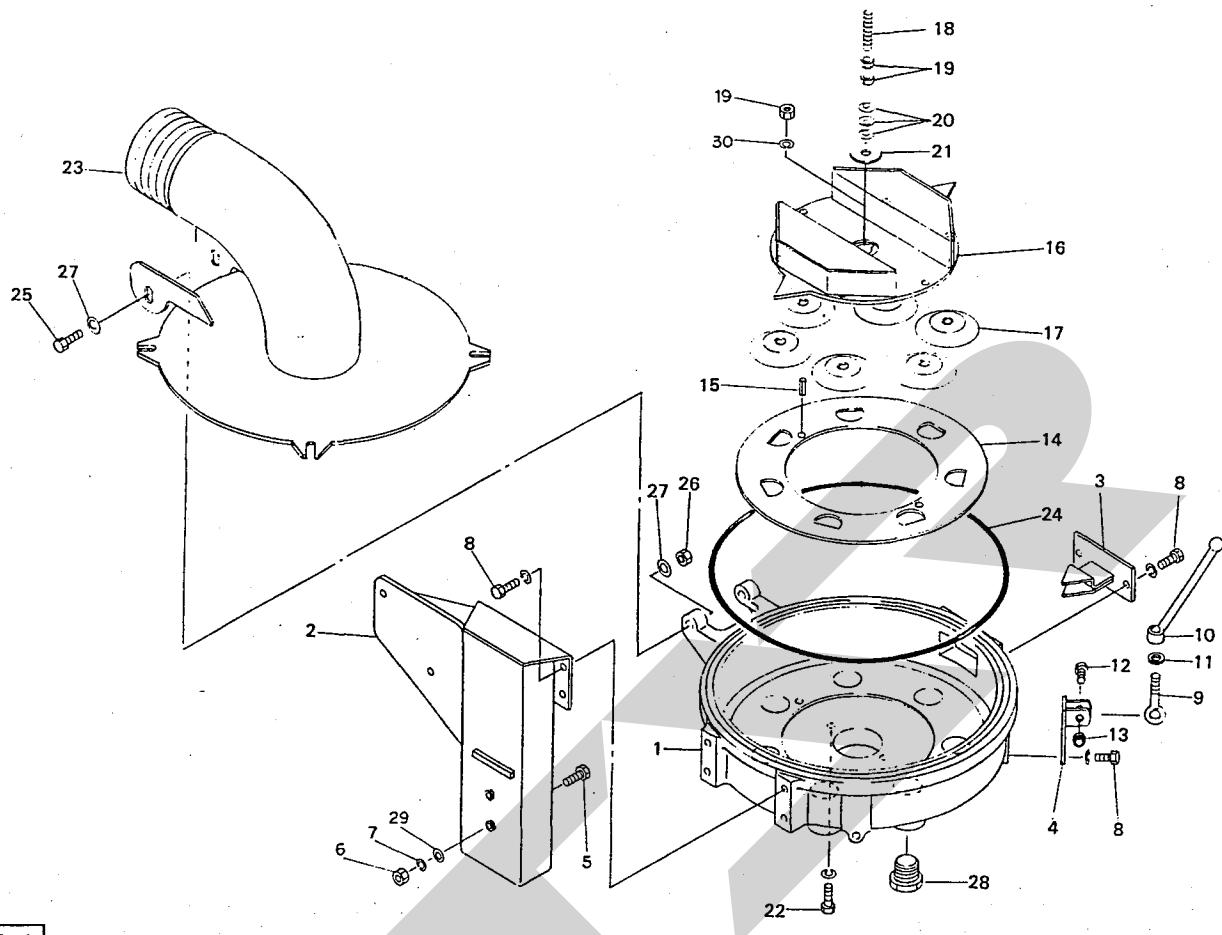


見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	105569	3Pフレーム	1				
2	BZ1640AG	ボルト; M16×40(8.8)	12				
3	105867	ロワーリンク	1				
4	105853	ピン	1				
5	71770	ブッシュ	2				
6	ONAS1	グリースニップル; A-PT1/8	1				
7	WRA30G	ワッシャ; M30	1				
8	64021	ワッシャ	1				
9	BZ1640WG	ボルト; M16×40(8.8)	1				
10	125019000M	トップリンクアッセンブリ	2				
11	34200	ピン	4				
12	105835	ピン; 30	4				
13	PC0630G	ワリピン; 6.3×45	8				
14	105836	ピン; 22	2				
15	00739	リングピン; 9	2				



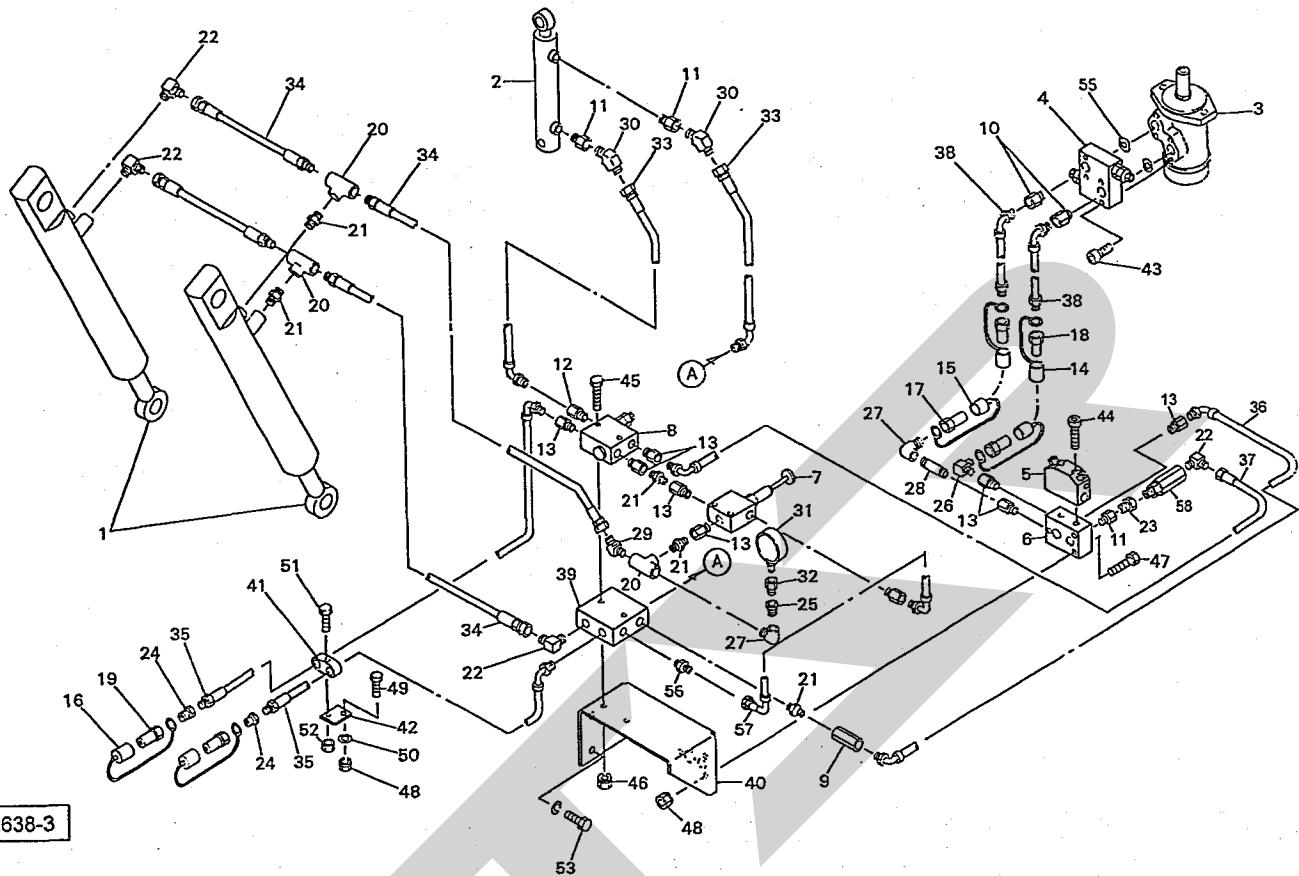
12636-1

見出番号	部品番号	部品名称	個	見出番号	部品番号	部品名称	個
1	105856	パイプ	1	27	75843	○リング；5"	1
2	BZ1245AG	ボルト；12×45(8.8)	4	28	BZ12075	ボルト 8.8 M12×75	1
3	105837	プレート	1	29	NNF12	フランジナイロンナット M12	1
4	ORG160	○リング；G-160	2	30	WSA16	バネザガネ 3コウ M16	1
5	75833	バルブ；5" 0リング・フォーケンド付	1				
6	00055	ピン；B10×35	1				
7	PC0320G	ワリピン；3.2×16	1				
8	105862	ストッパー	1				
9	82030	スプリング	2				
10	105893	ブラケット	1				
11	BZ1240AG	ボルト；M12×40(8.8)	4				
12	BZ1680G	ボルト；M16×80(8.8)	1				
13	NZ16	ナット 8 2ショ M16	1				
14	106239	ピン	1				
15	WRA16G	ワッシャ；M16	2				
16	PC0425G	ワリピン；4×25	2				
17	92213	バー	1				
18	00067	ピン；B12×60	2				
19	00086	ベータピン；12×2	2				
20	75844	カップリング；5"	1				
21	75842	アダプタ；5" (図23, 27付)	1				
22	106042	デリバリホース；5"	1				
23	76444	ゴムリング	1				
24	106240	パワーロックバンド；125	2				
25	106125	ホースウケ	1				
26	BZ1230AG	ボルト；M12×30(8.8)	2				

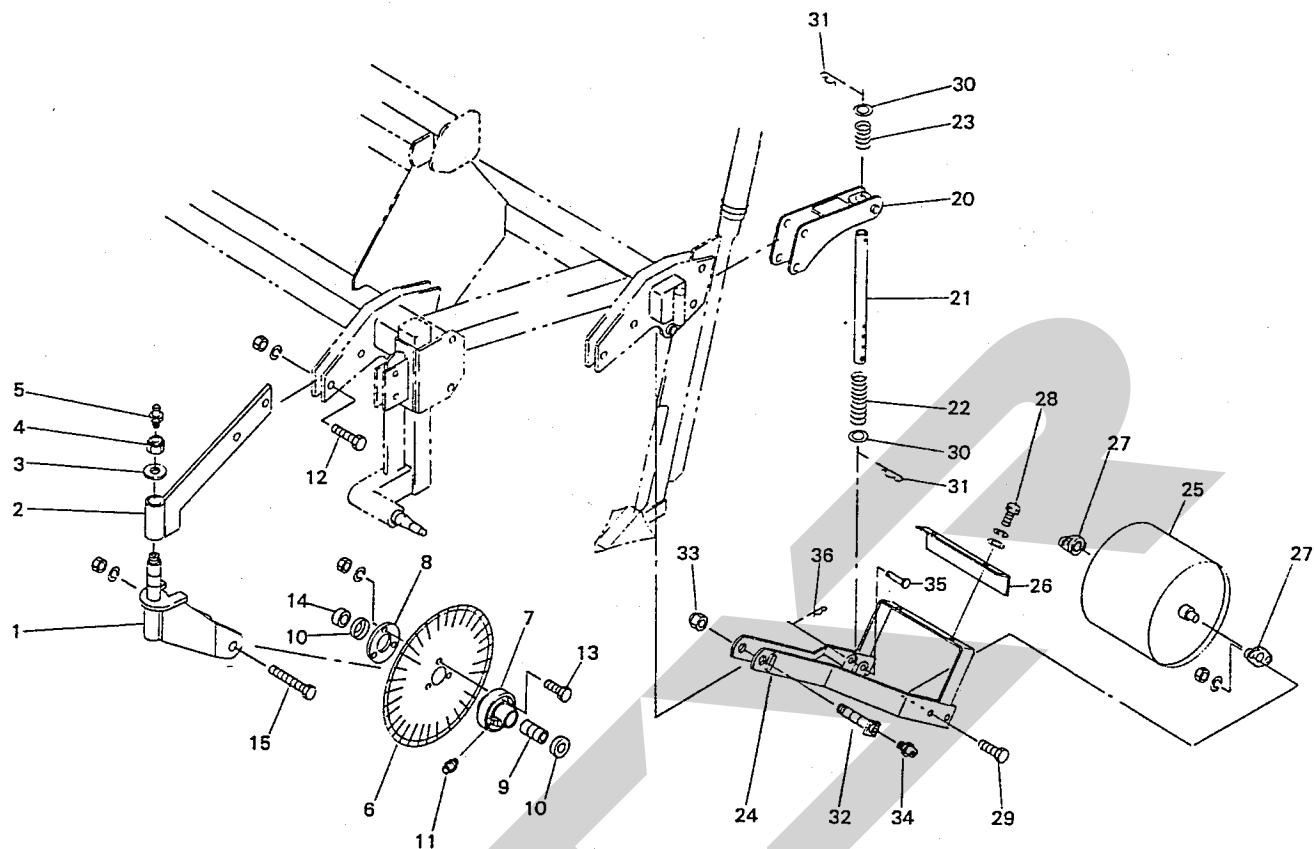


12637-1

部品番号	部品名称	部品番号	部品名称
1 106301	ケーシング	1 27 WRA12G	ワッシャ ; M12
2 106302	ステー	1 28 106376	ロッカクプラグ ; PT1-1/4
3 106309	ブレード	1 29 42783	ワッシャ 13×3.2 メキ
4 106318	ブラケット	4 30 WSA08	バネザガネ 3ゴウ M8
5 BZ12090	ボルト 8.8 M12×90		
6 NZ12	ナット 8 2ヶ M12		
7 WSA12	バネザガネ 3ゴウ M12		
8 BZ1025WG	ボルト ; M10×25 (8.8)	10	
9 24049	アイボルト	4	
10 74738	ハンドル	4	
11 65482	ワッシャ ; 13×6	4	
12 BZ1040G	ボルト ; 10×40 (8.8)	4	
13 NN10G	ナイロンナット ; M10	4	
14 106327	アンダーシェア	1	
15 PS10020	スプリングピン ; 10×20	2	
16 106320	ディスク	1	
17 106328	ナイフ	6	
18 106664	スタッドボルト ; M8×65	1	
19 NSZ08	コガタナット 8 2ヶ M8	3	
20 WC1L08G	サラバネザガネ ; M8 (1種荷重用)	3	
21 59313	ザガネ	1	
22 BZ1245WG	ボルト ; M12×45 (8.8)	2	
23 106313	キャップ	1	
24 ORP415	○リング P-415	1	
25 BZ1250G	ボルト ; M12×50 (8.8)	2	
26 NN12G	ナイロンナット ; M12	2	



見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	93167	シリンダ	2	26	KLA30	オス90°エルボ; PT3/8	1
2	105170	シリンダ	1	27	KLF30	メスオスエルボ; PT3/8	2
3	106662	ユアツモータ; OMR160	1	28	96538	ロングニップル; PT3/8×55L	1
4	106896	リリーフバルブ	1	29	YLH30	オス45°エルボ; PT3/8×PF3/8	1
5	106897	オートマチック ダイレクションバルブ	1	30	YLH20	オス45°エルボ; PT1/4×PF1/4	2
6	106898	パッキングプレート	1	31	106938	アツリヨクケイ	1
7	106899	レデューシングバルブ	1	32	106939	ゲージアダプタ; PT1/4×PF1/4	1
8	105201	シーケンスバルブ; 3/8	1	33	106940	ユアツホース; 1/4×1250	2
9	1193660004	チェックバルブ; 3/8	1	34	82996	ユアツホース; 3/8×630	4
10	106900	ブッシング; PF1/2×PT3/8	3	35	KH0608500AD	ユアツホース ; 3/8×8500 1-S901	2
11	100970	ブッシング; PF1/4×PT1/4	1	36	KH0600400DD	ユアツホース ; 3/8×400 S901-S901	1
12	102551	ブッシング; PF3/8×PT1/4	3	37	106943	ユアツホース; 3/8×400	2
13	105166	ブッシング; PF3/8×PT3/8	9	38	106944	ユアツホース; 3/8×1600	2
14	00776	カプラキャップ; 3/8	2	39	106936	ブロック	1
15	00777	カプラプラグ; 3/8	2	40	106937	ブレケット	1
16	00778	カプラキャップ; 1/2	2	41	LNG3-15/15	ホースクランプ LNG 3-15/15	2
17	CLF30F	カプラ・メス; PT3/8	2	42	106949	プレート	2
18	CLF30M	カプラ・オス; PT3/8	2	43	BH0835G	ロッカクアナボルト; M8×35	4
19	CLF40M	カプラ・オス; PT1/2	2	44	BH0560G	ロッカクアナボルト; M5×60	4
20	KT30	ディー; PT3/8	3	45	BZ0680G	ボルト; M6×80(8.8)	2
21	KN30	ニップル; PT3/8	5	46	NP06G	スプリングナット; M6	2
22	YL30	オス90°エルボ; PT3/8×PF3/8	4	47	BZ0870G	ボルト; M8×70(8.8)	3
23	2040-04-06	ブッシング; PT1/4×PT3/8	1	48	NP08G	スプリングナット; M8	5
24	KB4030	ブッシング; PT1/2×PT3/8	2	49	BZ0825G	ボルト; M8×25(8.8)	2
25	KB3020	ブッシング; PT3/8×PT1/4	1				



12640

見番号	部品番号	部品名称	量	見番号	部品番号	部品名称	量
1	105848	コールタブラケット	1	29	BZ0835AG	ボルト ; M8×35(8.8)	4
2	105829	ブラケット	1	30	76487	プレート	2
3	41020	ロータジクオサエザガネ	1	31	32910	ベータピン ; 19×5	2
4	NN20G	ナイロンナット ; M20	1	32	105832	ピン	1
5	ONAS1	グリースニップル ; A-PT1/8	1	33	NN20G	ナイロンナット ; M20	1
6	105838	ローリングコルタ ; 16" (滑)	1	34	ONBS1	グリースニップル ; B-PT1/8	1
7	92248	コルタハブ	1	35	00006	ピン ; B12×55	1
8	92249	コルタザガネ	1	36	00008	ベータピン ; 12×2	1
9	92250	コルタブッシュ	1				
10	92251	コルタキャップ	2				
11	ONAS1	グリースニップル ; A-PT1/8	1				
12	BZ1260AG	ボルト ; M12×60(8.8)	2				
13	BZ1040AG	ボルト ; M10×40(8.8)	3				
14	92202	カラー ; 20.5×16	1				
15	BZ20140AG	ボルト ; M20×140(8.8)	1				
20	106013	ブラケット	1				
21	76310	パイプ	1				
22	76311	スプリング	1				
23	34117	スプリング	1				
24	105842	フレーム	1				
25	76313	プレスホイール	1				
26	78877	スクレーパ	1				
27	JCSFB204LLU	ペアリングユニット ; CSFB204LLU	2				
28	BZ1020PWG	ボルト ; M10×20(8.8)	2				







調整

S-000808D

本 社	066-8555	千歳市上長都 1061 番地 2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066-8555	千歳市上長都 1061 番地 2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070-8004	旭川市神楽4条9丁目3番35号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富営業所	098-4100	天塩郡豊富町字上サロベツ1191 番地 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-2462	帯広市西22条北1丁目12番地 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
北見営業所	090-0001	北見市小泉 302 TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344
中標津営業所	086-1152	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540
花巻営業所	025-0312	岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1 TEL 0198-26-5741 FAX 0198-26-5746
仙台営業所	985-0845	宮城県多賀城市町前2丁目4番27号 TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846
小山営業所	323-0158	栃木県小山市梁 2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-0102	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
松本出張所	399-0033	長野県松本市大字笛賀 5824-5 TEL 0263-26-5731 FAX 0263-26-5761
岡山営業所	700-0973	岡山県岡山市下中野 704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	862-0939	熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885-0004	宮崎県都城市都北町 3537-1 TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644